

ご入学おめでとうございます！都留文科大学の入学式が行われました！

4月4日(土)都の杜うぐいすホールにおいて、平成27年度の都留文科大学入学式が執り行われました。

新入生代表の言葉として、社会学科の新井花緒さんは「私たちは自分を高める絶好の機会を得ました。この機会を活かし、常に、前向きに、向上きにして、直向きに、未来を見据えた高い志を抱いて、日々成長することを決意します。」と、また比較文化学科の渡辺菜穂子さんは「地域の方との交流が盛んなこの都留文科大学の豊かな環境のもとで、夢を叶えるために、夢を希望に変え、希望を目標に変えられるように大事な一歩を今日踏み出します。」とそれぞれの目標や決意を述べてくれました。



ヴァンフォーし甲府 都留市・身延町サンクスデーが開催されました！



■スタジアムの外では市の特産品を販売するブースも出店し、来場者に大人気でした。

4月18日、山梨中銀スタジアムにおいて、ヴァンフォーし甲府による都留市・身延町サンクスデーが行われました。市からは両チームに水を贈呈しました。この日の対戦相手はサガン鳥栖で、残念ながらヴァンフォーし甲府は0-3で負けてしまいました。会場はおいに盛り上がりつつありました。市の観光キャラクターも応援に駆け付け、ピッチ内でダンスを披露すると、「かわいい！」と大人気でした。

お茶壺道中採茶使が、武井邦夫さんに決定しました！

10月の「お茶壺道中行列」の採茶使に、武井邦夫さんが決定し、その任命式が4月20日に行われました。採茶使は、江戸時代に将軍家が飲むお茶を京都から運ぶために派遣した使者のことです。

10月25日に開催予定の「お茶壺道中行列」の最高責任者として、谷村藩主役の堀内市長に茶壺を献上します。

また、武井邦夫さんは、6月7日に長野県塩尻市の奈良井宿で行われるお茶壺道中行列や、6月14日に京都府宇治市で行われる「富士の霊気茶 瑞鶴」の受渡し式にも参加する予定です。



都留市の人口

H27.4.1 現在

男	15,323人 (-170)
女	16,025人 (-200)
計	31,348人 (-370)
世帯数	12,592世帯(-236)

※()内数字は、前月比

5月の納税

固定資産税(第1期)

都留市民憲章

わたくしたち都留市民は

- 健康で明るいまちにいたします。
- 自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- たのしく働き、活気ある産業のまちに育てます。
- たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。



市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



ようこそ都留市へ！都留IC出口に看板が寄附されました！



■左から実行委員長 相川義美さん、市長、会長 小俣哲夫さん



■本市の花である梅と市の鳥のうぐいすが描かれています。

3月末日、都留インターチェンジ近くの公園に、観光用看板が寄附されました。この看板は都留ロータリークラブの創立50周年事業により寄附していただきました。看板には「富士の湧水と歴史文化が輝く学園のまち」と表記してあり、インターチェンジを降りてきた来訪者に、本市をPRできるものとなっています。都留ロータリークラブの皆さん、ありがとうございました！

東桂の湧水が育む溪流の宝石「ヤマメ」の命をつなげよう！



■生徒たちは顕微鏡で観察したり、受精卵にとって最適な環境などについて学んできました。

3月22日、鹿留川の古渡団地付近で東桂中学校のクラブ活動で、桂船部の生徒らが、昨年10月から育ててきたヤマメを放流しました。

受精卵から観察し、育ててきたヤマメを、自分たちの手で放流することで、小さな命を育ててきたという実感を持つことができました。放流されたヤマメは鹿留川の清流の中で、たくましく育ててくれることでしょう！



楽山風致公園を桜の新名所に！第2回さくら植樹祭り開催！



4月5日、楽山風致公園を新しい桜の名所にしようと、第2回さくら植樹祭りが開催されました。

この試みはつる倫理法人会、都留ライオンズクラブ、都留市緑化推進会議の3団体の主催で行われました。

当日は主催者らと「つる子どもまつり実行委員会」学生、ガールスカウト・ボーイスカウトの親子連れなど160人が参加して、120本の桜の苗木を植樹しました。南都留森林組合職員の指導を受けながら、風や雨よけのネットで覆うなど、一本ずつ大切に植樹を行いました。将来は、千本桜が咲き誇る新名所となることを期待しています。親子の絆や、ふるさと都留への思いが深まった一日でした！